

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月12日

上場会社名 サークレイス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5029 URL <https://www.circlace.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 佐藤 司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 山本 直一 (TEL) 050 (1744) 7546
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,242	24.1	△79	—	△59	—	△34	—
2026年3月期第1四半期	1,000	24.0	△64	—	△66	—	△32	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △54百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △57百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△7.95	—
2026年3月期第1四半期	△7.58	—

(注) 2027年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,940	834	43.9
2026年3月期	1,868	1,267	68.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 851百万円 2026年3月期 1,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	25.5	570	114.1	570	115.6	350	68.3	79.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	4,385,318株	2026年3月期	4,377,916株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	112株	2026年3月期	112株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	4,380,163株	2026年3月期1Q	4,350,297株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2026年8月12日(水)に決算説明資料及び決算説明会動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）における我が国の経済は、世界的に不透明感が漂う状況が続くなかにおいても、賃上げの継続や雇用環境の改善を背景として、緩やかながらも回復の動きを継続しました。個人消費につきましては、こうした所得環境の改善に加え、訪日外国人需要の底堅さもあり、穏やかな増加傾向が見られました。設備投資におきましても、人手不足への対応やDX・AI活用の推進といった構造的な課題に対応するための投資姿勢が引き続き積極的に維持されました。

他方、今後の見通しにつきましては、中東地域をはじめとした地政学的リスクの高まりに伴うエネルギー・原材料価格の上昇、米国をはじめとする各国の保護主義的な政策運営が世界経済に与える下押し圧力、およびサプライチェーンにおける供給面の制約リスクなどにより、引き続き不確実性の高い状況が想定されます。

このような経済環境下ではありましたが、国内企業によるデジタルトランスフォーメーション（以降、DX）への投資意欲は継続して底堅く、その受け皿となる国内パブリッククラウドサービス市場は着実な拡大を続けています。IDC(注1)は、同市場が2025年から2030年にかけて年平均17.6%のペースで成長し、2030年には2025年の約2.2倍となる10兆962億円規模に達すると予測しています。

このような状況下、当社グループにおいては、コンサルティングサービス、SaaSサービス、アオラノウ株式会社（連結子会社）が提供するサービスの各サービスで堅調な売上を確保し、結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,242,573千円（前年同四半期比24.1%増）となりました。

一方で、継続した人的資本投資のための人件費及び社員募集費に加え、業務委託を含む外注費等が大きく発生し、売上原価が822,663千円（前年同四半期比48.1%増）となりました。また、販売費及び一般管理費が499,783千円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの実績は、営業損失79,873千円（前年同四半期は営業損失64,284千円）、経常損失59,622千円（前年同四半期は経常損失66,116千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失34,806千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失32,993千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

① コンサルティング事業

当第1四半期連結累計期間におけるコンサルティング事業の売上高は912,123千円（前年同四半期比11.0%増）、セグメント利益は△44,522千円（前年同四半期は△64,284千円）という結果になりました。

そのうち、AI&Data Innovationの売上高は466,564千円（前年同四半期比16.2%増）、コンサルティングの売上高は391,343千円（前年同四半期比2.9%増）、SaaSサービス（AGAVE）の売上高は54,215千円（前年同四半期比35.3%増）であります。

Salesforceを主力としたコンサルティングサービスの売上は堅調に推移しております。また、AGAVEにおきましては、引き続き海外給与計算機能が寄与し堅調に推移しております。

② アオラノウ事業

当第1四半期連結累計期間におけるアオラノウ株式会社の売上高は330,450千円（前年同四半期比84.4%増）、セグメント利益は△35,350千円（前年同四半期は△44,192千円）という結果になりました。

売上は実績が急伸し、業績に大きく貢献しました。

同社は、2023年8月にパソナグループとの共同出資により設立した会社であり、売上を順調に伸ばしております。

※用語解説

（注1）IDC：IDC Japan株式会社の略で、IT及び通信分野に関する調査・分析・アドバイザリーサービス、イベントを提供するグローバル企業。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,199,853千円となり、前連結会計年度末と比べ32,824千円減少しました。これは主に現金及び預金が110,584千円減少、売掛金が42,023千円減少したことに対して、前払費用が103,201千円増加したことによるものであります。主な内訳は、現金及び預金426,325千円、売掛金513,958千円、前払費用210,607千円であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は740,526千円となり、前連結会計年度末と比べ104,928千円増加しました。これは主に投資有価証券が89,040千円増加、繰延税金資産が9,120千円増加したことによるものであります。主な内訳は、有形固定資産184,984千円、投資有価証券195,786千円、敷金及び保証金129,243千円、のれん104,049千円、繰延税金資産66,470千円であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は733,878千円となり、前連結会計年度末と比べ199,649千円増加しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が76,716千円増加、契約負債が66,221千円増加、賞与引当金が31,220千円増加、未払消費税等が25,870千円増加したことに対して、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が48,232千円減少、未払法人税等が2,388千円減少したことによるものであります。主な内訳は、買掛金102,411千円、1年内返済予定の長期借入金92,976千円、未払金103,616千円、未払費用55,764千円、未払消費税等67,666千円、契約負債214,551千円、賞与引当金49,916千円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は371,555千円となり、前連結会計年度末と比べ304,549千円増加しました。これは長期借入金が303,219千円増加したことによるものであります。主な内訳は、長期借入金366,959千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は834,946千円となり、前連結会計年度末と比べ432,094千円減少しました。これは主に資本金が2,368千円増加したことに対して、資本剰余金が406,860千円減少、非支配株主持分が7,716千円減少、利益剰余金が19,748千円減少したことによるものであります。主な内訳は、資本金426,113千円、資本剰余金104,784千円、利益剰余金314,411千円、非支配株主持分△16,876千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月14日に「2026年3月期 決算短信」で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	536,910	426,325
売掛金	555,981	513,958
前払費用	107,406	210,607
未収還付法人税等	21,791	21,791
貸倒引当金	△365	△348
その他	10,953	27,518
流動資産合計	1,232,678	1,199,853
固定資産		
有形固定資産	185,426	184,984
無形固定資産		
ソフトウェア	12,782	56,860
ソフトウェア仮勘定	37,832	—
のれん	106,124	104,049
無形固定資産合計	156,738	160,909
投資その他の資産		
投資有価証券	106,746	195,786
敷金及び保証金	126,783	129,243
繰延税金資産	57,350	66,470
その他	2,552	3,133
投資その他の資産合計	293,432	394,632
固定資産合計	635,598	740,526
資産合計	1,868,276	1,940,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	93,813	102,411
1年内返済予定の長期借入金	16,260	92,976
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	48,232	—
未払金	85,300	103,616
未払費用	41,154	55,764
未払法人税等	11,557	9,168
未払消費税等	41,795	67,666
契約負債	148,329	214,551
賞与引当金	18,696	49,916
役員賞与引当金	—	2,166
株式給付引当金	8,046	1,582
役員株式給付引当金	916	4,953
その他	20,127	29,104
流動負債合計	534,229	733,878
固定負債		
長期借入金	63,740	366,959
株式給付引当金	3,265	2,178
役員株式給付引当金	—	2,418
固定負債合計	67,005	371,555
負債合計	601,235	1,105,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	423,744	426,113
資本剰余金	511,644	104,784
利益剰余金	334,159	314,411
自己株式	△108	△108
株主資本合計	1,269,440	845,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,982	4,982
為替換算調整勘定	1,778	1,639
その他の包括利益累計額合計	6,761	6,622
非支配株主持分	△9,160	△16,876
純資産合計	1,267,041	834,946
負債純資産合計	1,868,276	1,940,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,000,871	1,242,573
売上原価	555,552	822,663
売上総利益	445,319	419,910
販売費及び一般管理費	509,603	499,783
営業損失(△)	△64,284	△79,873
営業外収益		
受取利息	0	0
有価証券利息	112	236
為替差益	156	191
その他	16	21,181
営業外収益合計	286	21,610
営業外費用		
支払利息	27	304
社債利息	1,708	671
株式交付費	382	382
営業外費用合計	2,118	1,358
経常損失(△)	△66,116	△59,622
特別利益		
固定資産売却益	—	3
資産除去債務戻入益	4,790	—
特別利益合計	4,790	3
特別損失		
固定資産除却損	—	2,715
特別損失合計	—	2,715
税金等調整前四半期純損失(△)	△61,326	△62,334
法人税等	△4,365	△8,448
四半期純損失(△)	△56,960	△53,886
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,967	△19,080
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,993	△34,806

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△56,960	△53,886
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,014	△185
その他の包括利益合計	△1,014	△185
四半期包括利益	△57,974	△54,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,753	△34,944
非支配株主に係る四半期包括利益	△24,221	△19,126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年6月11日付で、連結子会社アオラノウ株式会社の株式を追加取得したことにより、資本剰余金が409百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	コンサルティング事業	アオラノウ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	821,702	179,169	1,000,871	—	1,000,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,300	15,313	21,613	△21,613	—
計	828,002	194,482	1,022,485	△21,613	1,000,871
セグメント損失(△)	△20,091	△44,192	△64,284	—	△64,284

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の取引消去等です。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	コンサルティング事業	アオラノウ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	912,123	330,450	1,242,573	—	1,242,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,500	10,587	15,087	△15,087	—
計	916,623	341,037	1,257,661	△15,087	1,242,573
セグメント損失(△)	△44,522	△35,350	△79,873	—	△79,873

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の取引消去等です。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	10,842千円	10,588千円
のれんの償却額	3,423 〃	3,423 〃